

医学系研究実施のお知らせ

医学系研究「細胞間接着蛋白発現変化による口腔扁平上皮癌のリンパ節転移リスクの検討」に関する 研究実施のお知らせについて

当院では、最適な治療を患者さんに提供するために、病気の特徴を研究し、診断法、治療法の改善などを目指す医学系研究を行なっています。そのような医学系研究の一つとして、この研究も行われております。

このお知らせ文は、この研究の実施について皆様に知っていただき、研究内容を正しく理解していただくと同時に、対象者となられる方が研究不参加を望まれる場合にはその意思表明をしていただくためのものです。

なお、この研究は福岡学園倫理審査委員会の承認と、研究機関の長（福岡学園理事長 水田祥代）からの許可を受けています。この研究が許可されている期間は、2028年3月31日までです。

1. 研究の対象となる方の条件

2012年4月1日から2028年3月31日までに福岡歯科大学医科歯科総合病院・口腔外科を受診された口腔扁平上皮癌の患者さんで生検・手術をされた100名（リンパ節転移あり50名、リンパ節転移なし50名）、および、今後、福岡歯科大学医科歯科総合病院で手術をうけられる40名（リンパ節転移あり20名、リンパ節転移なし20名）の方に研究協力をお願いしています。目標症例数は合計で140名です。なお、未成年の方は、この研究にご参加いただくことはできません。

この研究において、ご自身の診療情報や試料等が利用されることを望まれない場合は、お手数ではありますが、下記相談窓口の担当者連絡先まで、ご一報ください。

2. 研究の目的や意義について

がん細胞が発生した場所から他の臓器へ転移するためには、細胞どうしの接着が弱くなり、細胞の運動性が異常にあがる必要があります。この研究では、がんの転移したリンパ節において、がん細胞間に発現する細胞間接着分子（細胞どうしの接着に関わるタンパク質）の発現パターンを調べることで、転移を起こしやすいがん細胞に特徴的な細胞間接着分子の発現パターンを見つけ出すことを目的としています。この発現パターンが見つければ、リンパ節転移を起こしやすいがん細胞を未然発見することにつながり、癌の治療に貢献できることが期待されます。

3. 研究の方法について

この研究を行う際は、対象となる方の診療録より以下の情報を取得します。また、手術で摘出された組織片から作製した凍結切片、および、保管されているパラフィンブロックから得られるパラフィン切片を用いて、免疫染色という方法でタンパク質の発現状態を解析します。解析結果と取得した情報の関係性を分析し、細胞間接着蛋白発現変化による口腔扁平上皮癌のリンパ節転移リスクを明らかにします。

〔取得する情報〕

年齢、性別、採取部位、診断名

4. 試料や情報の管理について

この研究において研究対象者から得られた試料は、研究終了後、福岡歯科大学生体構造学講座機能構造学分野において同分野教授の稲井哲一郎の責任の下、5年間保存した後、研究用の番号等を消去し、廃棄します。

この研究において研究対象者から得られた情報は、研究終了後、福岡歯科大学生体構造学講座機能構造学分野において同分野教授の稲井哲一郎の責任の下、10年間保存した後、研究用の番号等を消去し、廃棄します。

5. 研究に関する情報や個人情報の開示について

この研究に参加してくださった方々の個人情報の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の研究計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことができます。資料の閲覧を希望される方は、ご連絡ください。

また、保有する個人情報のうち、ご本人等からの求めに応じて、ご本人との確認をさせていただいた上で情報を開示します。情報の開示を希望される方は、ご連絡ください。

6. 研究の実施体制について

研究実施場所 (分野名等)	福岡歯科大学 生体構造学講座機能構造学分野
研究責任者	福岡歯科大学 生体構造学講座機能構造学分野 教授 稲井 哲一郎

7. 相談窓口について

この研究に関してご質問や相談等ある場合は、下記担当者までご連絡ください。

事務局 (相談窓口)	福岡歯科大学 生体構造学講座機能構造学分野 教授 稲井 哲一郎 連絡先：〔TEL〕 092-801-0425（内線 1511）
---------------	---

	[FAX] 092-801-4909 メールアドレス：tinaitj@college.fdcnet.ac.jp
--	---

（作成日：2022 年 6 月 03 日 最終修正日：2026 年 1 月 9 日）